

令和6年度(2024年度)用

小学校算数科用

「新編 新しい算数」
年間指導計画作成資料
略案
【1年】

令和5年(2023年)5月31日版

※単元ごとの配当時数、指導内容などは、今後変更になる可能性があります。ご了承ください。

東京書籍

新編 新しい算数 第1学年 年間指導計画案

・「学習指導要領」欄のAは数と計算、Bは図形、Cは測定、Dはデータの活用を示しています。

①		単元	指導 時数	ページ	指導内容	学習指導要領
前期	1 学期	★くらべたことがあるかな ★おおいのはどちらかな	1	1～2	●幼児期に育った数や量への関心・感覚の想起	幼児期の学 びの想起
		1. なかまづくりと かず	15	3～33	●条件や観点(同じ数)に応じてものの集合をとらえ、2つの集合 の要素を1対に対応させること ●「いち」から「ご」までの数詞の唱え方、数え方 ●1～5の数字の読み方、書き方、数の構成 ●5までの数の物を探し、数の理解を深めること ●「ろく」から「じゅう」までの数詞の唱え方、数え方 ●6～10の数字の読み方、書き方、数の構成 ●ものの個数を絵や図などを用いて表したり読み取ったりするこ と ●具体物や半具体物による5～10の数の合成、分解(1つの数を 他の2つの数の和や差としてみること) ●1～10の数の大小、系列 ●空集合としての0の意味 ●10までの数の系列を多面的にとらえること	A(1)
		2. なんばんめ	2	34～37	●順序や位置を数で表すこと ●10までの集合数と順序数との統一 ●ものの位置の表し方の素地	A(1) B(1)
	★どのようにかわるかな ★しあげよう	1	38～40	●数の構成の関数的な考察 ●10までの数の合成、分解の習熟	A(1) D(1) A(1)	

②		単元	指導 時数	ページ	指導内容	学習指導要領
前期	1 学期	3. あわせていくつ ふえるといくつ	8	2～12	●加法の意味(合併、増加) ●和が10以内の加法計算 ●計算カードによる加法計算の練習(1つの数を他の2つの数の 和としてみる) ●0を含む加法計算 ●加法のお話づくり	A(1) (2)
		☆おぼえているかな?	—	13	●既習内容の理解の確認	—
		4. のこりはいくつ ちがいはいくつ	9	14～25	●減法の意味(求残、求補、求差) ●被減数が10以内の減法計算 ●計算カードによる減法計算の練習(1つの数を他の2つの数の 差としてみる) ●0を含む減法計算 ●減法のお話づくり	A(1) (2)
		5. どちらがながい	5	26～31	●長さの概念 ●長さの測定(直接比較、間接比較) ●長さを数値化して表すこと(任意単位の初歩)	C(1)
	2 学期	6. わかりやすく せいりしよう	3	32～35	●絵や図を用いた数量の表現と読み取り(グラフの素地)	A(1) D(1)
		7. 10よりおおい かず	9	36～47	●20までの数の唱え方、数え方 ●20までの数の読み方、書き方 ●2ずつや5ずつまとめて数えること ●20までの数の構成、系列、大小 ●数構成に基づく加減計算 ●2位数に1位数をたす加法計算(繰り上がりなし) ●2位数から1位数をひく減法計算(繰り下がりなし) ●40までの数の数え方、読み方、書き方	A(1) (2)
		8. なんじなんじはん	1	48～49	●時計の目盛りと長針、短針の機能 ●何時、何時半の読み方	C(2)
		☆おぼえているかな?	—	50	●既習内容の理解の確認	—
		9. 3つのかずの けいさん	3	51～54	●簡単な3つの数の加減計算	A(1) (2)
10. どちらがおおい	4	55～58	●体積の概念 ●体積の測定(直接比較、間接比較) ●体積を数値化して表すこと(任意単位の初歩)	C(1)		

②		単元	指導 時数	ページ	指導内容	学習指導要領	
後期		☆おぼえているかな？	—	59	●既習内容の理解の確認 ●10の補数をとらえられるようにするための活動	—	
		11. たしざん	10	60～70	●繰り上がりのある1位数どうしの加法計算 ・被加数が7～9の場合 ・被加数が2～6の場合 ●ノートに思考の過程を表現すること ●計算カードやゲームによる上記の加法計算の練習	A(1)(2)	
		☆おぼえているかな？	—	71	●既習内容の理解の確認	—	
		12. かたちあそび	4	72～75	●直方体、立方体、円柱、球などの立体図形の基礎的概念 ●形や機能に着目した、立体図形の分類 ●立体図形を構成している平面図形の特徴	B(1)	
		13. ひきざん	10	76～85	●繰り下がりのある11～18－1位数の減法計算 ・減数が7～9の場合 ・減数が2～6の場合 ●計算カードやゲームによる上記の減法計算の練習	A(1)(2)	
		★どんないきさんになるのかな？	2	86～87	●加減についての演算決定	A(2)	
		★けいさんびらみっど	2	88～89	●1～2位数の加減法の習熟	A(1)(2)	
		☆おぼえているかな？	—	90	●既習内容の理解の確認	—	
	3 学期		14. おおきいかず	14	91～105	●10ずつまとめて数えることのよさ ●100までの数の唱え方、数え方 ●2位数の位取りの原理、数の構成 ●100までの数の系列、順序、大小 ●数直線上に表された数 ●簡単な3位数(120程度まで数えること) ●簡単な場合の2位数などの加法、減法 ・繰り上がり、繰り下がりのない2位数±1位数の計算 ・何十±何十	A(1)(2)
			15. どちらがひろい	1	106～107	●面積の概念 ●面積の比較(直接比較、陣取りでの数値化による比較)	C(1)
		16. なんじなんぶん	2	108～110	●何時何分の読み方	C(2)	
		★ビルをつくらう	1	111	●数の乗法・除法的構成の初歩	A(1)(2)	
		17. たしざんとひきざん	5	112～119	●順序、順序数に関する加法や減法 ●異種の量について加法や減法が適用できること ●加減の意味の拡張(求大、求小)	A(2)	
		18. かたちづくり	6	120～125	●色板や数え棒、ドットを用いた基本的な平面図形の構成	B(1)	
		★1ねんのふくしゅう	2	126～128	●1学年の学習内容の総復習	A～D	

年間の総時数	2学期制	前期 61 + 後期 59 = 120	予備時数 16 時間
標準時数 136 時間	3学期制	1学期 41 + 2学期 48 + 3学期 31 = 120	

令和6年度(2024年度)用

小学校算数科用

「新編 新しい算数」
年間指導計画作成資料
略案
【2年】

令和5年(2023年)5月31日版

※単元ごとの配当時数、指導内容などは、今後変更になる可能性があります。ご了承ください。

東京書籍

新編 新しい算数 第2学年 年間指導計画案

・発展印は、発展的な学習の内容を示しています。

・「学習指導要領」欄のAは数と計算、Bは図形、Cは測定、Dはデータの活用、「内取」は内容の取扱いを示しています。

上巻		単元	指導 時数	ページ	指導内容	学習指導要領
前期	1 学期	★学びのとびら	1	2～7	●数学的活動を通した算数科の学び方の確認	第1学年の内容
		1. グラフとひょう	3	8～11	●簡単な一次元表、グラフの読み方、かき方	D(1)
		2. たし算のひっ算	8	12～23	●2位数と1～2位数の加法計算 ●加法の筆算形式 ●加法の交換法則と検算の方法	A(2) 内取(3)
				123	発展 カードを用いた加法の筆算づくり	
		3. ひき算のひっ算	8	24～35	●2位数から1～2位数をひく減法計算 ●減法の筆算形式 ●減法と加法の関係 ●減法の検算の方法	A(2)
				123	発展 カードを用いた減法の筆算づくり	
		★どんな計算になるのかな?	2	36	●2位数の加減についての演算決定	A(2)
	4. 長さのたんい	9	37～49	●長さを表す単位の必要性、有用性 ●物差しが目盛りの読み方、使い方 ●長さの単位「センチメートル、ミリメートル」 ●1cm=10mmの単位関係 ●直線概念 ●長さについての加減計算	C(1)	
	5. 3けたの数	12	50～65	●1000までの数の読み方、書き方 ●3位数の位取りの原理、数の構成 ●1000までの数の相対的な大きさ ●1000までの数の系列、順序、大小、多面的な見方 ●10や100を単位とする数構成に着目した加減計算 ●数構成に基づく加減計算(500+30、530-30など) ●大小、相等を表す記号の使い方	A(1)(2)	
			124	発展 数の構成に基づく数の大小判定方法の説明		
			6. 水のかさのたんい	8		66～75
	7. 時ごとと時間	2	76～79	●時刻と時間の概念、区別 ●1時間=60分、1日=24時間の単位関係 ●午前、午後の意味	C(2)	
			124	発展 時刻と時間の意味の正確な使い分け		
	☆おぼえているかな?	—	80	●既習内容の理解の確認	—	
2 学期	8. 計算のくふう	5	81～85	●加法の結合法則、()の使い方 ●簡単な加減の暗算のしかた	A(2) 内取(2)(3)	
	9. たし算とひき算のひっ算	10	86～99	●和が3位数になる、2位数と1～2位数の加法計算 ・繰り上がり1回及び、2回の場合 ・波及的に繰り上がる場合 ●差が2位数になる、3位数から1～2位数をひく減法計算 ・繰り下がり1回及び、2回の場合 ・波及的に繰り下がる場合 ●百の位への繰り上がりがない、3位数と1～2位数の加法計算 ●百の位からの繰り下がりがない、3位数から1～2位数をひく減法計算	A(2) 内取(3)	
			125	発展 3つの2位数の加法筆算		
10. 長方形と正方形	10	100～112	●三角形、四角形の概念と用語 ●辺、頂点の意味 ●直角の概念 ●長方形、正方形の概念、性質、かき方(方眼紙を利用) ●直角三角形の概念、性質、かき方(方眼紙を利用)	B(1) 内取(5)		

下巻		単元	指導 時数	ページ	指導内容	学習指導要領
後期	2 学期	11. かけ算(1)	17	2~24	<ul style="list-style-type: none"> ●乗法の意味 ●倍概念の基礎 ●5の段、2の段の九九の構成 ●3の段、4の段の九九の構成 ●「かけられる数」「かける数」の用語と意味 ●乗数と積の大きさの関係の初歩的な考察 ●活動を通しての九九の習熟 	A(1)(3) 内取(4)
		12. かけ算(2)	15	27~48	<ul style="list-style-type: none"> ●6の段、7の段の九九の構成 ●8の段、9の段、1の段の九九の構成 ●かけ算九九の表の考察 <ul style="list-style-type: none"> ・乗数と積の大きさの関係 ・乗法の交換法則 ・簡単な2位数×1位数の乗法計算 ●倍とかけ算 ●かけ算九九を適用して解決する問題 	A(1)(3) 内取(4)
		☆おぼえているかな？	—	49	●既習内容の理解の確認	—
3 学期		13. 4けたの数	11	50~63	<ul style="list-style-type: none"> ●10000までの数の読み方、書き方 ●4位数の位取りの原理、数の構成 ●10000までの数の相対的な大きさ ●10000までの数の系列、順序、大小、多面的な見方 	A(1)(2) 内取(1)
		14. 長いものの 長さのたんい	6	64~71	<ul style="list-style-type: none"> ●長さの単位「メートル」 ●1m=100cmの単位関係 	C(1)
		15. たし算とひき算	5	72~79	<ul style="list-style-type: none"> ●減法逆の加法、加法逆の減法等の問題解決 ●加法と減法の相互関係 	A(2) 内取(2)
				109	発展 減法逆の減法の問題解決	
		16. 分数	5	80~88	<ul style="list-style-type: none"> ●具体物を用いて1/2や1/3などの大きさを作ること ●1/2や1/3などの数を分数と呼ぶこと 	A(1)
				デジタル	発展 倍と分数を用いた数量の関係の考察	
		☆おぼえているかな？	—	89	●既習内容の理解の確認	—
		17. はこの形	5	90~95	<ul style="list-style-type: none"> ●箱の形を基にした立体と平面の関係 ●立体図形(立方体、直方体)の構成要素としての頂点、辺、面の特徴 	B(1)
109	発展 展開図による立方体の向かい合う面の考察					
★計算ピラミッド	2	96~97	<ul style="list-style-type: none"> ●1~2位数の加減計算の習熟 ●伴って変わる2つの数量の関係に関する初歩的な考察 	A(2)		
★2年のふくしゅう	4	98~102	●2学年の学習内容の総復習、働かせてきた数学的な見方・考え方の振り返り	A~D		

年間の総時数 標準時数 175 時間	2学期制 前期 78 + 後期 70 = 148	予備時数 27 時間
	3学期制 1学期 53 + 2学期 57 + 3学期 38 = 148	

令和6年度(2024年度)用

小学校算数科用

「新編 新しい算数」
年間指導計画作成資料
略案
【3年】

令和5年(2023年)5月31日版

※単元ごとの配当時数、指導内容などは、今後変更になる可能性があります。ご了承ください。

東京書籍

新編 新しい算数 第3学年 年間指導計画案

- ・発展印は、発展的な学習の内容を示しています。
- ・「学習指導要領」欄のAは数と計算、Bは図形、Cは測定、Dはデータの活用、「内取」は内容の取扱いを示しています。

上巻		単元	指導 時数	ページ	指導内容	学習指導要領
前期	1 学期	★学びのとびら	1	2～7	●数学的活動を通した算数科の学び方の確認	第2学年の内容
		1. かけ算	8	8～23	●乗数と積の関係、乗法の交換法則 ●被乗数分解や乗数分解による乗法の性質 ●被乗数や乗数が10の場合の乗法計算 ●乗法の性質を用いた被乗数が10を超える場合の乗法計算 ● $a \times 0$ 、 $0 \times a$ 、 0×0 の乗法 ●乗法九九を適用して未知数の乗数や被乗数を求めること	A(3) 内取(3)(4)
		2. 時ごとと時間のもとのめ方	4	24～29	●時刻と時間の求め方 ●時間の単位「秒」の概念 ●1分＝60秒の単位関係	C(2)
				デジタル	発展 時間の加減計算(繰り上がり、繰り下がりあり)	
		3. わり算	9	30～42	●除法の意味(等分除・包含除) ●除数と商が1位数の除法の答えの求め方 ● $a \div a$ 、 $0 \div a$ 、 $a \div 1$ の除法計算	A(4)
				138	発展 18と12の公約数を見つけて活用する問題	
		☆おぼえているかな?	—	43	●既習内容の理解の確認	—
	4. たし算とひき算の筆算	7	44～53	●3位数と2～3位数の加法計算 ・和が3位数、4位数の場合 ●3位数から1～3位数をひく減法計算 ・波及的に繰り下がる場合 ●1000から2～3位数をひく減法計算 ●4位数と2～4位数の加減計算(一万の位への繰り上がりなし)	A(2) 内取(2)	
			139	発展 答えが198になる減法づくり		
	★考える力をのぼそう	1	54～55	●図を活用した、重なりのある2つの長さの和の求め方	A(2)(7)	
	5. 長いものの長さのはかり方と表し方	7	56～65	●巻尺の機能と使い方、有用性 ●距離、道のりの意味と求め方 ●長さの単位「キロメートル」 ●1km＝1000mの単位関係	C(1)	
	6. ぼうグラフと表	9	66～79	●資料の分類・整理の仕方、項目のとり方、表し方 ●棒グラフの読み方、かき方、有用性 ●簡単な二次元表の読み方、かき方	D(1) 内取(8)	
	7. 暗算	2	80～81	●2位数どうしの加減計算の暗算	A(2) 内取(2)	
	2 学期	8. あまりのあるわり算	7	82～91	●除数と商が1位数で余りのある除法計算 ●余りと除数の大きさの関係 ●答えの確かめ方 ●余りのとらえ方	A(4)
			139	発展 あまりの大きさに着目した問題解決		
9. 大きい数のしくみ		10	92～105	●一億までの数の読み方、書き方 ●一億までの数の位取りの原理、数の構成 ●数の相対的な大きさ、大小、系列、順序関係、多面的な見方 ●数直線の意味 ●10倍、100倍、1000倍した数、10でわった数の大きさ	A(1) 内取(1)	
			140	発展 6桁の数づくり		
10. かけ算の筆算(1)		11	106～120	●何十、何百に1位数をかける乗法計算 ●2～3位数に1位数をかける乗法と筆算形式 ●乗法の結合法則	A(3) 内取(2)(4)	
			140	発展 乗法の筆算づくり(乗数が1位数)		
☆おぼえているかな?	—	121	●既習内容の理解の確認	—		
11. 大きい数のわり算、分数とわり算	4	122～125	●何十を1位数でわる除法計算(余りなし) ●2位数÷1位数で、十の位と一の位でわりきれぬ除法計算 ●等分除と分数の意味の関連付け	A(4)(6)		
★どんな計算になるのかな?	1	126	●加減乗除についての演算決定	A(2)(3)(4)		

下巻		単元	指導 時数	ページ	指導内容	学習指導要領
後期	2 学期	12. 円と球 ◆他教科との関連: 英語	8	2~13	●円の概念、性質、円の中心、半径と直径 ●コンパスの機能と使い方 ●球の概念、性質、球の中心、半径と直径	B(1) 内取(6)
		13. 小数	11	14~29	●小数の意味と表し方 ●小数の位取り、小数の構成 ●小数の相対的な大きさ、大小関係、多面的な見方 ●小数の加減計算と筆算形式(小数第一位まで)	A(5)
		14. 重さのたんいと はかり方 ◆他教科との関連: 理科	9	30~42	●重さの概念 ●重さの単位「グラム、キログラム」 ●1kg=1000gの単位関係 ●はかりを使った重さの測定の仕方 ●重さについての加減計算(正味、風袋、全体の重さ) ●長さ、重さ、かさの単位の関係(接頭語キロ(k)やミリ(m)の意味)	C(1) 内取(7)
		☆おぼえているかな?	—	43	●既習内容の理解の確認	—
	3 学期	15. 分数	10	44~56	●分数の意味と表し方 ●分数は単位分数のいくつ分で表せること ●分母が10の分数と小数の関係 ●同分母分数の加減計算	A(6) 内取(5)
			115	発展 分数が表すこと(量、割合)に着目した問題の解決		
		☆おぼえているかな?	—	57	●既習内容の理解の確認	—
		16. □を使った式	3	58~63	●未知の数量を□として、加法、減法、乗法、除法の式で表し、□ の値を求めること	A(7)
			デジタル	発展 □や○を用いた式を活用した問題の解決		
		17. かけ算の筆算(2)	10	64~74	●1~2位数に何十をかける乗法計算 ●2~3位数に2位数をかける乗法と筆算形式 ●きまりを使った乗法の計算の工夫 ●2位数と1位数との乗法の暗算	A(3) 内取(2)
			116	発展 乗法の筆算づくり(乗数が2位数)		
		☆おぼえているかな?	—	75	●既習内容の理解の確認	—
		●倍の計算	3	76~79	●倍の第二用法、第一用法 ●倍の第三用法	A(3)(4)(7)
		18. 三角形と角 ◆他教科との関連: 英語	8	80~93	●二等辺三角形、正三角形の概念 ●二等辺三角形、正三角形のかき方 ●形としての角の概念 ●二等辺三角形、正三角形の角の性質	B(1) 内取(6)
☆おぼえているかな?	—		94	●既習内容の理解の確認	—	
●そろばん	2	95~97	●そろばんの珠の入れ方、取り方 ●そろばんによる基本的な加減計算	A(8)		
★考える力をのばそう	1	98~99	●等間隔に配置されたものの数と、その間の数との関係に着目し て考える問題解決	A(3)(7)		
★3年のふくしゅう	3	100~104	●3学年の学習内容の総復習、働かせてきた数学的な見方・考 方の振り返り	A~D		

年間の総時数 標準時数 175 時間	2学期制 前期 81 + 後期 68 = 149	予備時数 26 時間
	3学期制 1学期 48 + 2学期 61 + 3学期 40 = 149	

令和6年度(2024年度)用

小学校算数科用

「新編 新しい算数」
年間指導計画作成資料
略案
【4年】

令和5年(2023年)5月31日版

※単元ごとの配当時数、指導内容などは、今後変更になる可能性があります。ご了承ください。

東京書籍

新編 新しい算数 第4学年 年間指導計画案

- ・発展印は、発展的な学習の内容を示しています。
- ・「学習指導要領」欄のAは数と計算、Bは図形、Cは変化と関係、Dはデータの活用、「内取」は内容の取扱いを示しています。

上巻		単元	指導 時数	ページ	指導内容	学習指導要領
前期	1 学期	★学びのとびら	1	3～7	●数学的活動を通した算数科の学び方の確認	第3学年の内容
		1. 大きい数のしくみ ◆他教科との関連：英語	7	8～19	●億、兆に及ぶ数の構成、命数法と記数法 ●10倍、1/10にした数の表し方 ●十進位取り記数法と十進数の意味 発展 兆より大きい数の単位 ●3位数どうしの乗法の筆算 ●末尾に0のある乗法の計算の工夫 ----- 発展 乗法の筆算の拡張(4位数、5位数)	A(1) 内取(1)(3)
				147		
		2. 折れ線グラフと表 ◆他教科との関連：理科	9	20～35	●折れ線グラフの読み方 ・伴って変わる2量の関係(関係の特徴) ・折れ線の傾きと変化の度合いの考察 ●折れ線グラフのかき方 ●折れ線グラフの読み取りと未測定の考察 ●棒グラフと折れ線グラフの合わせたグラフの読み取り ●資料を落ちや重なりがないように分類整理し、表にまとめること ●二次元表の表し方	D(1) 内取(9)(10)
		3. わり算の筆算(1)	11	36～53	●何十、何百を1位数でわる除法計算 ●2～3位数を1位数でわる除法と筆算形式 ●1位数でわる除法の暗算	A(3) 内取(2)
		4. 角の大きさ	9	54～71	●回転による角の大きさの意味 ●角度の単位「度」、1直角=90°の単位関係 ●分度器を使った角度のはかり方 ●対頂角の性質 ●分度器を使った角のかき方、三角形のかき方	B(5)
		5. 小数のしくみ	13	72～89	●小数の位取りの原理、小数の構成 ●小数を用いた数量の単名数表示の仕方 ●小数も整数と同じ十進構造になっていること ●小数の順序、大小関係、相対的な大きさ、多面的な見方 ●小数を10倍、1/10にしたときの数の表し方 ●小数の加減計算と筆算形式(小数第二位以下)	A(4)
	★考える力をのぼそう	1	90～91	●図を活用し、2量の差に着目して考える問題	A(6)	
	●そろばん	2	92～93	●大きい数や小数の珠の入れ方 ●そろばんによる小数や大きい数の簡単な加減計算	A(8)	
	2 学期	6. わり算の筆算(2)	14	94～111	●何十でわる除法計算 ●2～3位数÷2位数、3位数÷3位数の除法と筆算形式 ●仮商のたて方と修正の仕方 ●除法について成り立つ性質 ●末尾に0のある除法の計算の工夫 ----- 発展 除法の筆算の拡張(被除数が4位数)	A(3) 内取(2)(3) (4)
				147		
		●倍の見方	4	112～117	●除法の意味の拡張(倍の計算) ●簡単な場合についての割合	A(3)(6) C(2)
		7. がい数の表し方と 使い方	8	118～130	●概数の意味 ●四捨五入の意味と方法 ●概数処理のいろいろな表現方法 ●数の範囲の表し方 ●和、差、積、商を概数で見積もること ※「プログラミングを体験しよう！」への誘導あり ----- 発展 概数処理をした上でのグラフへの表現	A(2) 内取(2)
				148		
☆おぼえているかな?		—	131	●既習内容の理解の確認	—	
★算数で読みとこう		1	132～133	●給食の残食に関するデータから情報を読み取ったり判断したりする問題	D(1)	

下巻		単元	指導 時数	ページ	指導内容	学習指導要領
後期	2 学期	8. 計算のきまり	8	2～13	●()を用いた式の計算順序 ●四則混合の式の計算順序 ●分配、交換、結合法則の理解と活用 ●乗法について成り立つ性質	A(6)(7) 内取(6)
				135	発展 4この数でいろいろな式をつくる問題	
		9. 垂直、平行と四角形	13	14～35	●直線の垂直、平行の概念とひき方 ●平行線を活用してできる角の大きさの考察 ●台形、平行四辺形、ひし形の概念、性質 ●台形、平行四辺形、ひし形のかき方 ●いろいろな四角形の対角線の性質	B(1) 内取(7)
				136	発展 対角線による四角形の考察	
		10. 分数	9	36～48	●真分数、仮分数、帯分数の概念、構成 ●数直線を基にした仮分数や帯分数の構成と相互の関係 ●分数の相等関係と大小比較 ●同分母分数の加減計算	A(5)
			デジタル	発展 分数と小数の関係の考察		
	☆おぼえているかな?	—	49	●既習内容の理解の確認	—	
	11. 変わり方調べ	4	50～56	●2つの数量の対応関係を表に表したり、□や○を用いて式に表したりすること 発展 比例関係に着目した問題	A(6) C(1)	
			デジタル	発展 2つの数量の関係を折れ線グラフに表すこと		
	☆おぼえているかな?	—	57	●既習内容の理解の確認	—	
3 学期	12. 面積のくらべ方と表し方	10	58～75	●面積の意味 ●面積の単位「平方センチメートル、平方メートル、アール、ヘクタール、平方キロメートル」と単位の相互関係 ●長方形、正方形の面積公式とその適用 ●複合図形の面積の求め方 ●面積の単位と既習の単位との相互関係	A(6) B(4) 内取(8)	
				137	発展 工夫して面積を求める問題	
		13. 小数のかけ算とわり算	15	76～97	●小数に整数をかける乗法と筆算形式 発展 (デジタル)表で比例関係を調べる素地的活動 ●小数を整数でわる除法と筆算形式 ●余りがある場合の余りの小数点の位置 ●わり進みのある除法計算 ●小数の意味の拡張(小数倍) ●小数の意味の拡張(帯小数倍、純小数倍)	A(4) 内取(5)
				137	発展 被乗数や被除数の桁数を拡張した小数×÷整数の計算	
		★どんな計算になるのかな?	1	98～99	●加減乗除についての演算決定	A(3)(4) B(4)
	14. 直方体と立方体 ◆他教科との関連:英語	9	100～113	●直方体、立方体の概念、特徴、性質 ●展開図、見取図の意味とかき方 ●直方体、立方体の面や辺の位置関係(垂直、平行) ●平面上や空間にある点の位置の表し方	B(2)(3)	
			138	発展 立方体の展開図の考察		
	★考える力をのばそう	1	114～115	●2つの数量の共通部分に対応・消去し、数量の関係を単純化してとらえる問題	A(6)	
	★算数で読みとこう	1	116～117	●防災に関するデータから情報を読み取ったり判断したりする問題	D(1)	
	★4年のふくしゅう	3	118～122	●4学年の学習内容の総復習、働かせてきた数学的な見方・考え方の振り返り	A～D	

年間の総時数	2学期制 前期 80 + 後期 74 = 154	予備時数
標準時数 175 時間	3学期制 1学期 53 + 2学期 61 + 3学期 40 = 154	21 時間

令和6年度(2024年度)用

小学校算数科用

「新編 新しい算数」
年間指導計画作成資料
略案
【5年】

令和5年(2023年)5月31日版

※単元ごとの配当時数、指導内容などは、今後変更になる可能性があります。ご了承ください。

東京書籍

新編 新しい算数 第5学年 年間指導計画案

- ・発展印は、発展的な学習の内容を示しています。
- ・「学習指導要領」欄のAは数と計算、Bは図形、Cは変化と関係、Dはデータの活用、「内取」は内容の取扱いを示しています。

上巻		単元	指導 時数	ページ	指導内容	学習指導要領
前期	1 学期	★学びのとびら	1	2～7	●数学的活動を通した算数科の学び方の確認	第4学年の内容
		1. 整数と小数	5	8～15	●十進数としての整数、小数 ●0.001を単位とした、小数の相対的な大きさ ●十進位取り記数法と十進数の意味 ●小数や整数を10倍、100倍、1/10、1/100にしたときの数の表し方	A(2)
					136	
		2. 直方体や立方体の体積 ◆他教科との関連: 英語	8	16～31	●体積の意味 ●体積の単位「立方センチメートル、立方メートル」と単位の相互関係 ●直方体、立方体の体積公式とその適用 ●複合図形の体積の求め方 ●体積の単位と既習の単位との関係	B(4)
					136～137	
		3. 比例	4	32～38	●比例の意味	C(1)
		☆おぼえているかな?	—	39	●既習内容の理解の確認	—
		4. 小数のかけ算	9	40～51	●小数をかけることの意味 ●小数の乗法の考え方と筆算形式 ●純小数をかけたときの積と被乗数の関係 ●小数の場合も分配、交換、結合法則が成り立つこと	A(3)(6)
					デジタル	
	5. 小数のわり算	9	52～63	●小数でわることの意味 ●小数の除法の考え方と筆算形式 ●純小数でわるときの商と被除数の関係 ●商を概数で表すときの処理の仕方 ●余りがある場合の余りの小数点の位置	A(3)	
				デジタル		発展 カードを用いた条件に合う除法づくり
	●小数の倍	5	64～69	●倍に関する基準量変換 ●小数倍の意味と小数倍を適用する問題(第一、二、三用法) ●簡単な場合についての割合	A(3)	
	★どんな計算になるのかな?	2	70	●小数の乗除についての演算決定	A(3)	
	☆おぼえているかな?	—	71	●既習内容の理解の確認	—	
	6. 合同な図形	8	72～83	●合同の意味、合同な図形の弁別 ●合同な図形の性質 ●合同な三角形の作図と、三角形の決定条件の初歩 ●合同な四角形の作図と、四角形の決定条件の初歩	B(1)	
				137		発展 平面図形の決定条件の初歩
	2 学期	7. 図形の角	6	84～93	●三角形の内角の和は 180° であること ●多角形の内角の和の考察 ●1種類の合同な四角形だけで平面を敷き詰められること	B(1) 内取(2)
					138	
8. 偶数と奇数、倍数と約数		12	94～107	●偶数、奇数の意味とその類別 ●倍数、公倍数、最小公倍数の意味とその見つけ方 ※「プログラミングを体験しよう!」への誘導あり ●約数、公約数、最大公約数の意味とその見つけ方	A(1) 内取(1)	
				138		発展 公倍数の性質を利用して、条件に合う整数を考える問題
9. 分数と小数、整数の関係		6	108～117	●整数のわり算の商を分数で表すこと ●分数倍の意味と分数倍を適用する問題(第一用法) ●分数と小数、整数の相互関係	A(4)	
				デジタル		発展 循環小数に関する考察
★考える力をのばそう		2	118～119	●変化する2つの数量とその和や差を表に表すことを通して、変化の規則性を見つける問題解決	C(1)	
★算数で読みとこう		2	120～121	●体力テストについての記事や運動に関するアンケートの結果について、その妥当性を批判的に考察したりする問題	D(1)	
☆おぼえているかな?		—	122	●既習内容の理解の確認	—	

下巻		単元	指導 時数	ページ	指導内容	学習指導要領	
後期	2 学期	10. 分数のたし算とひき算	10	2~17	●約分の意味とその方法 ●通分の意味とその方法 ●異分母分数の加法、減法の計算 ●分数と小数の混じった加減計算 ●時間の分数表示	A(4)(5)	
				デジタル	発展 カードを用いた条件に合う分数の加法づくり、音符の長さに関する考察		
		11. 平均	6	18~25	●平均の意味と求め方 ●平均から全体量を求める方法 ●測定したデータから平均を求める方法 ●外れ値を除いた平均の求め方	D(2)	
		12. 単位量あたりの大きさ	10	26~41	●単位量あたりの大きさの意味 ●人口密度の意味と求め方 ●速さの意味と表し方 ●速さに関する公式とその適用	C(2)	
		13. 四角形と三角形の面積	11	42~62	●平行四辺形の面積の求め方、面積公式とその適用 ●三角形の面積の求め方、面積公式とその適用 ●台形やひし形の面積の求め方、面積公式とその適用 ●三角形の高さと面積の関係	B(3)	
			139~140	発展 図形の面積公式に着目した図形の関係の考察、図形の性質を用いた面積の求め方			
		☆おぼえているかな?	—	63	●既習内容の理解の確認	—	
3 学期		14. 割合	10	64~80	●割合の意味とその求め方 ●百分率の意味とその表し方 ●歩合の意味とその表し方 ●百分率を適用した計算問題	C(3) 内取(4)	
				—	81	●既習内容の理解の確認	—
		15. 帯グラフと円グラフ ◆他教科との関連:英語	8	82~92	●帯グラフ、円グラフの読み方、特徴、かき方 ●統計的な問題解決の方法	D(1) 内取(5)	
		16. 変わり方調べ	1	93~95	●図、表、式を用いて数量の規則性を見つける問題解決	A(6)	
		17. 正多角形と円周の長さ	9	96~109	●正多角形の概念、性質、かき方 ※「プログラミングを体験しよう！」への誘導あり ●円周率の意味 ●円の直径の長さと円周の長さの関係	B(1) 内取(3) A(6) C(1)	
		18. 角柱と円柱	7	110~119	●角柱、円柱の概念、特徴、性質 ●角柱、円柱の見取図、展開図	B(2)	
					デジタル	発展 トイレットペーパーの芯を展開した図形の考察	
		★考える力をのばそう	2	120~121	●2量の関係を図に表すことを通して基準量を求める問題	C(3)	
		★算数で読みとこう	2	122~123	●人工林や二酸化炭素の排出量についてのデータから情報を読み取ったり判断したりする問題	D(1)	
		★5年のふくしゅう	5	124~128	●5学年の学習内容の総復習、働かせてきた数学的な見方・考え方の振り返り	A~D	

年間の総時数	2学期制 前期 79 + 後期 81 = 160	予備時数 15 時間
標準時数 175 時間	3学期制 1学期 51 + 2学期 65 + 3学期 44 = 160	

令和6年度(2024年度)用

小学校算数科用

「新編 新しい算数」
年間指導計画作成資料
略案
【6年】

令和5年(2023年)5月31日版

※单元ごとの配当時数、指導内容などは、今後変更になる可能性があります。ご了承ください。

東京書籍

新編 新しい算数 第6学年 年間指導計画案

- ・発展印は、発展的な学習の内容を示しています。
- ・「学習指導要領」欄のAは数と計算、Bは図形、Cは変化と関係、Dはデータの活用、「内取」は内容の取扱いを示しています。

		単元	指導 時数	ページ	指導内容	学習指導要領
前期	1 学期	★学びのとびら	1	2～7	●数学的活動を通じた算数科の学び方の確認	第5学年の内容
		1. 対称な図形	13	8～23	●線対称な図形、対称の軸の概念 ●線対称な図形の性質(対応する点、辺、角)とかき方 ●点対称な図形、対称の中心の概念 ●点対称な図形の性質(対応する点、辺、角)とかき方 ●既習の多角形を対称性という観点で見ること	B(1)
		2. 文字と式	5	24～31	●数量の大きさを、文字 x を用いた式で一般的に表すこと ●数量の関係を、文字 x 、 y を用いた式で一般的に表すこと	A(2)
				248	発展 文字を使った求積公式を見た数量の関係の考察	
		3. 分数×整数、分 数÷整数、分数 ×分数	13	32～49	●分数に整数をかけることの意味と計算の仕方 ●分数を整数でわることの意味と計算の仕方 ●分数をかけることの意味と計算の仕方 ●真分数をかけるときの積と被乗数の関係 ●分数についても面積や体積の公式や計算法則が成り立つこと ●逆数の意味	A(1)(2) 内取(1)(2)
				デジタル	発展 条件に合う分数の乘法づくり	
		4. 分数÷分数	7	50～65	●分数でわることの意味と計算の仕方 ●真分数でわるときの商と被除数の関係 ●3口の分数の乗除混合計算の仕方 ●分数、小数、整数の混じった乗除計算の仕方 ●分数の乗除計算の立式についての理解の深化(作問)	A(1)(2) 内取(1)(2)
				249	発展 分子、分母が分数である分数を含む除法計算、分数の四則計算を用いた問題	
	●分数の倍	3	66～69	●分数倍を適用する問題(第一、二、三用法)	A(1)(2) 内取(1)(2)	
	★どんな計算になるのかな?	2	70	●分数の乗除についての演算決定	A(1)(2) 内取(2)	
	☆おぼえているかな?	—	71	●既習内容の理解の確認	—	
	5. 比	8	72～84	●比の意味と表し方 ●比の値の意味と表し方 ●等しい比の意味と調べ方 ●比の相等関係とその利用、比例配分	A(2) C(2)	
			250	発展 比を使って平面図形の面積比を考える問題		
		☆おぼえているかな?	—	85	●既習内容の理解の確認	—
		★算数で読みとこう	2	86～87	●ホエールウォッチングや野菜の価格に関する割合について考察したり判断したりする問題	D(1) 内取(2)
	2 学期	6. 拡大図と縮図	8	88～99	●拡大図、縮図の意味と性質(対応する辺の長さや角の大きさ) ●拡大図、縮図のかき方 ●縮図の利用	B(1)
251				発展 相似比を使った問題、相似比と面積比に関する問題		
7. データの調べ方 ◆他教科との関連: 英語		10	100～119	●代表値としての平均 ●資料を度数分布表に整理すること ●最頻値 ●ヒストグラム(柱状グラフ)を読んだりかいたりすること ●中央値 ※「プログラミングを体験しよう!」への誘導あり ●統計的な問題解決の方法 ●いろいろなグラフの特徴、読み方 発展 ダイヤグラム、荷物の配達料金のグラフ 発展 一部の資料から全体の資料の傾向を調べること	D(1)	
				8. 円の面積		6
252	発展 円の面積を使ったいろいろな問題					
☆おぼえているかな?	—	133	●既習内容の理解の確認	—		

		単元	指導 時数	ページ	指導内容	学習指導要領
後期	2 学期	9. 角柱と円柱の 体積	5	134～141	●角柱、円柱の体積公式 ●複合図形を角柱とみた体積の求め方	B(4)
				252	発展 与えられた条件を使った体積の関係の考察	
		10. およその面積と 体積	5	142～146	●概形を基本図形でとらえた面積、体積の概測	B(2)
		☆おぼえているかな？	—	147	●既習内容の理解の確認	—
		★考える力をのばそう	2	148～149	●線分図を用いて全体を1とみたときの、単分量などを求める問題	A(2) C(2)
		11. 比例と反比例	16	150～175	●比例の関係を、文字 x 、 y を使って式に表すこと ●表を使った比例関係の考察 ●比例の式 ●比例のグラフの理解 ●比例関係に着目した問題 ●反比例の意味、性質 ●反比例の表、式、グラフ	A(2) C(1)
				253	発展 比例の関係をグラフを使ってくわしく考察する問題	
			12. 並べ方と 組み合わせ方	6	176～185	●起こりうる場合の数を落ちや重なりがないように調べる方法 (順列、組み合わせの考え方の初歩)
	★考える力をのばそう	2	186～187	●図、表、式を用いて数量の関係を見つける問題	A(2) C(1)	
	★算数で読みとこう	2	188～189	●海洋プラスチックごみについてのデータから情報を読み取ったり判断したりする問題	D(1)	
	3 学期	●データを使って 生活を見なおそう	5	190～195	●家庭学習の時間を統計的に分析すること	
		13. 算数のしあげ	19	196～219	●小学校の学習内容の総復習	A～D
		★算数卒業旅行	11	220～230	発展 中学校の数学の素地的な体験や学習 ●国際理解、和算、クイズ・パズルを通して算数・数学に対する興味を広げる問題	A～D

年間の総時数 標準時数 175 時間	2学期制	前期 78 + 後期 73 = 151	予備時数 24 時間
	3学期制	1学期 54 + 2学期 62 + 3学期 35 = 151	